

OZU DISCOVERY CORNER

©IR(国際交流員) マシュー・サイバート

Vol.03 Honda Super Cub

国際交流員マシュー・サイバートと大津町の人々との交流を通して、いろいろな町の魅力を発見していくコーナーです！今月は生誕60周年を迎えたHonda「スーパーカブ」を体験レポート！世界に展開する二輪製造の拠点、Honda 熊本製作所に突撃取材しました。



Honda 熊本製作所 (平川)

昨年世界生産累計1億台を突破し、世界で最も売れているバイク「スーパーカブ」。大津町の「Honda 熊本製作所」は、そんな世界中の人々から愛されるバイクを日本で唯一製造している工場です。



1 効率を追求した美しいライン、ここでバイクに命が吹き込まれます 2 今回特別に試乗体験。安全運転のコツを伝授 3 力強い走りに感動！バイクって最高！



ひとこと質問コーナー



世界各地のスーパーカブに何か違いはありますか？

それぞれの国に合ったカラーやフォルムにしています。日本は丸くてレトロ、外国のカブはライトが尖っているなど、国ごとにたくさんの兄弟がいるんですよ。

Honda 熊本製作所 製品技術課長 大城 健史さん

スーパーカブは左足でのギアチェンジ操作が面白く、何よりパワフル！10月13日に行われたHonda Motorcycle Homecomingというイベントでは、熊本製作所に全国各地から約2,500人のバイクファンが集結。ものづくりへの情熱が多くの人をひきつけるんですね！



学校での取り組みなどをご紹介 毎月14日は大津町教育の日

●問い合わせ 役場学校教育課 学務係 ☎096(293)3349

ジュニアリーダー夢議会が開催されました

次代を担う若者のリーダーとして、中高生が自分たちが夢を持てるまちづくりとは何かを考える「ジュニアリーダー夢議会」が10月3日に大津中学校体育館で開催されました。

大津中学校、大津北中学校、大津支援学校、大津高校、翔陽高校の代表として10人の中高生議員が、福祉、産業、教育などについて町長や教育長へ提案や質問を行いました。また、今年是一般質問に加え、「50年後の大津町」をテーマに中高生議員と町執行部がパネルディスカッションを行

いました。それぞれが、高齢者や障害者にやさしい町、自然豊かな町、賑わいのある町、農業の盛んな町になってほしいという思いのもと、町がしなければならないこと、今の自分たちができることなどを発表し、当日は、議員の皆さんの熱い議論が会場を包みました。

議会を通じて、議長を務めた神代昌太さんは「議会ではさまざまな提案が上がっていて、こんなにも多くの分野が集まって町がかたち作られていることを知りました」と笑顔で話しました。



壇上で意見を述べる姿は真剣そのもの



中高生議員の皆さん



連載「人権シリーズ」

●問い合わせ

役場人権推進課 人権推進係
☎096(293)7920



県立大津高等学校 人権教育主任教諭 わだひであき 和田英明さん

今回は、県立大津高等学校で人権教育主任教諭として活躍している和田英明さんにお話を聞きました。

大津高校赴任6年目の昨年度から人権教育主任を務めています。生徒たちが小中学校で身につけた人権意識をさらに高めるため、本校では3つの目標を掲げ、人権教育に取り組んでいます。

- ・ 確かな学力を身につけながら、同和教育をめぐる歴史的認識や人権問題への理解を深めて、一人ひとりの自己実現を達成する進路保障に努める。
- ・ 学校や学年、特別活動などのあらゆる場面において望ましい人間関係を築く体験を通して、自他の人権を尊重する態度を育成する。
- ・ 部活動やボランティア活動を通して生きる力や自信を得ることで、社会の一員として差別や偏見の理不尽さを正す行動力を身につけさせる。

10月に行われる「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす熊本県人権子ども集会」で実行委員長を務めるなど、生徒たちも人権啓発活動に積極的に取り組んでいます。

■「七色解放子ども会」活動

七色解放子ども会は、あらゆる差別やいじめをなくしていくために小中高生が参加する学習会です。現在、高校生6人と、それぞれの生徒が通う4つの高校の教職員が活動しています。小中学校から積み上げてきた学習会も、高校生になると活動範囲が広がり、県や全国の集会に参加したり、実行委員として運営に携わったりするようになっています。さらに、集会の中で「他の学習会の高校生たちとの出会いの喜び」や「さまざまな考え方や取り組みを知る喜び」に出会い、「もっと参加しやすい意見交換の場を作り、なかまを増やしたい」という熱意が生まれ、昨年度には近隣の町の学習会との交流会が始まりました。身の回りの差別やいじめ、偏見を見抜き、真剣に議論し合い、なかまを広げていく高校生たちの姿には私たちも学ばされることが多くあります。これからも、高校生たちとともに、いじめや差別のない学校や社会づくりを目指していきます。



連載「人権シリーズ企画⑥」

●問い合わせ

役場人権推進課 男女共同参画推進係
☎096(293)7920



大津町男女共同参画審議会 委員 こやまけいこ 小山佳子さん

私は、実家がある長崎から熊本へ夫の仕事の関係で引っ越してきて早17年が経ちました。そのうち14年間この大津町で過ごしています。今では大好きな町になりました。

当時、仕事を熊本市内でしていたため、なかなか地域で親しく話す人もいない時にこのままではいけないと思い、地域の役員やPTA活動、選挙の期日前投票事務などをするようになり、いろいろな人と話す機会をいただきました。その中で、一部の人はありますが、女性が上に立つのが嫌だと思っている考えの人がまだ多いと感じました。そんな時に男女共同参画審議会委員の公募を「広報おおづ」で知り、応募してみたくなったのです。

入選 〆〆〆でも 良いじゃん ご飯作るのには 小山 幸香さん

普段の生活で身近に感じたことを、男女共同参画の視点から審議会を通して役場などに意見を述べることができ、たまに町長ともお話しする機会もあります。また、広報おおづには行政に関わるいろいろな情報が掲載されています。町の仕事や公的なボランティアに興味がある人は、ぜひ尋ねてみてください。皆さんと一緒に住み良い大津のまちづくりについて語り合いたいですね！

第1回大津町男女共同参画川柳コンテスト

